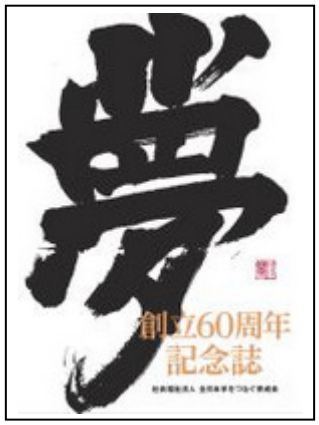
ふれあい

NO. ２４４
２０１３．１０．１５
社会福祉法人　大阪市手をつなぐ育成会
大阪市天王寺区東高津町 12-10
大阪市立社会福祉センターB１F
発行責任者　笹野井　庸夫
TEL 06(6765)5621 FAX 06(6765)5623
http://city-osaka-ikuseikai.or.jp

全日本手をつなぐ育成会　創立６０周年記念誌『夢』が発売されています

２０１１年に全日本手をつなぐ育成会は６０周年を迎え、今年の５月に６０周年記念誌『夢』を作成し発売がされています。

この記念誌では、最近の１０年は特に日本の障がい者福祉にとっては激動の時期であり、運動団体としての存在意義も改めて問われているなか、これまでの歩みを振り返るだけではなく、親の会運動の原点に立ち戻り、これからの育成会における次の１０年に向けての「夢」や「願い」なども記しながら展望しています。



記念誌はＢ５サイズ１６２ページ構成で、定価３，１５０円（税込）です。

現在、残部が少なくなりつつありますが、発売中とのことです。購入希望の方は全日本手をつなぐ育成会までホームページ（http://www.ikuseikai-japan.jp）、お電話（０３－３４３１－０６６８）でお問い合わせ下さい。

今回、この記念誌に掲載されました大阪市育成会会員の高橋健治郎氏のメッセージをご紹介いたします。

親なき後　－ 心の遺言 －

都島区支部　高橋　健治郎

１０年前、君は１４歳。養護学校中等部。しっかり者の人が好きなようでした。私もまだ勤めていました。君のことはお母さんまかせ。少しでも、君とかかわろうと思っていました。でも、母と子のかかわり方に疑問を持ちました。指示が多すぎることを注意するとケンカになる。それを君はどう見ていたでしょう。とにかく仲良くさせようとしていることがわかりました。心配かけてごめんね。母は強いなあと思い知りました。

昨年８月、父は直腸がんで手術入院、１０月には母が目の手術で入院。親なき後ではなく今、保護者がしている介護を社会で支えられるようになる仕組みが必要であると思いました。

３年前から打ち始めた「障害」がテーマの文がパソコンの中に入っていました。

心の遺言　２０１０．１．２６

正くんへ

お母さんかお父さんが天に召されたときのことを考えておきたいと思います。

たぶんお父さんが先に召されると思いますが、お母さんと正くんの二人きりになったときにも父としての思いは書き残しておきたいと思うからです。もちろん、後見人や生活支援員の人にも思いを伝えたいからです。

君が一人になっても、楽しく生きていけるように段取りをとっておきたいからです。結婚するお相手がいれば、苦労はすると思うけれど結婚生活がどのようなものか経験できていいと思っています。お相手の人がどんな人かにもよりますが、君の思いをわかろうとする人でなければ、生活は困難だと思います。だから、結婚しなくて一人で生きていけるように考えたいからです。

君には兄がいました。「善光」と名前をつけました。五体満足でしたが、死産でした。君の「正」という名前の願いは、力強く、明るく、そして正しく生きてほしいと願ってつけました。自分が正しいと思うことでも、人にはなかなか通じにくいこともあります。通じないばかりか、正しいことを行うには多くの壁が目の前に立ちはだかり、困難にすることもあります。でも、自分が正しいと思うことをすることは、成し遂げようと努めることが世に存在した証だと思えます。誰か一人でも、認めてくれる人がいると信じて生をまっとうしてほしいと思います。それが父としての君への願いです。

このふれあいは平成 24 年 12 月に実施されたＮＨＫ歳末たすけあい配分金により作成しています。